

科目				担当者（○主担当）					
木造建築構造設計演習（許容応力度計算）				○小原 勝彦					
授業方法	オンデマンド	開講時期	後期	時間数	30	区分	選択	カテゴリ	木造建築
背景と目的	木造建築の構造設計は、その建物を利用する人々の命を守ることに直結するものである。本科目では、最も簡易な構造設計（許容応力度設計）に関する知識を身に付けることを目的とする。								
到達目標	・木造建築の最も簡易な構造設計（許容応力度設計）の流れを知っている。								
授業内容	2階建て木造住宅のモデルプランを通じて、木造建築の許容応力度計算を手計算で演習します。講義＋計算演習で進めます。 1. 受講ガイダンス、木造建築視察：岐阜県立森林文化アカデミーにて、ガイダンスを開催します。またアカデミーの木造建築視察を行います。 以下は、オンデマンドによる受講となります。皆さんのペースで受講してください。 2. 構造設計の考え方、仕様規定 3. 固定荷重・積載荷重・積雪荷重 / 【計算1】 【計算2】 4. 風圧力・地震力 / 【計算3】 【計算4】 5. 梁上耐力壁 / 【計算5】 【計算6】 6. 耐力壁 / 【計算7】 【計算8】 【計算9】 7. 偏心率 / 【計算10】 【計算11】 【計算12】 【計算13】 【計算14】 【計算15】 【計算16】 8. 水平構面 / 【計算17】 【計算18】 【計算19】 【計算20】 【計算21】 【計算22】 【計算23】 【計算24】 9. 柱の長期軸力 / 【計算25】 【計算26】 10. 柱頭柱脚接合部 / 【計算27】 【計算28】 11. 横架材端部接合部 / 【計算29】 12. 柱の座屈と面外風圧力 / 【計算30】 【計算31】 13. 横架材の曲げ / 【計算32】 【計算33】 【計算34】 【計算35】 【計算36】 14. 地盤と基礎 / 【計算37】 【計算38】 【計算39】 【計算40】 【計算41】 15. 軒、けらば / 【計算42】 【計算43】 16. 屋根葺き材 / 【計算44】								
テキスト・参考書	・「木造軸組工法住宅の許容応力度設計（2017年版）」（日本住宅・木材技術センター） ・第1回受講ガイダンス時にプリントを配布します。								
事前履修科目	事前履修科目は特にないが、建築に関する基本的な知識（用語など）を有すること								
評価方法	1. 出欠	2. 試験	3. 成果物	4. 取り組み姿勢	5. その他				
	60%	0%	40%	0%	0%				
関連する資格	特に無し								
注意事項	・視聴するURLは受講ガイダンスの際に御案内します。 ・2回以降について視聴および演習の実施後に、期限日までに出席確認表を提出してください。								
学生へのメッセージ	構造分野は建築実務者も苦手としている方が多い分野です。構造設計の流れを知って、少しでも苦手意識を薄めてもらえるといいと考えています。								